

## 第506回 IBC番組審議会

1. 開催 日時 平成18年1月27日(金) 午前11時
2. 開催 場所 デジタルセンター3F Dホール
3. 委員の出席
- |         |             |
|---------|-------------|
| 委員総数    | 11名         |
| 出席委員数   | 7名          |
| 出席委員の氏名 |             |
| 委員長     | 吉沢 正則       |
| 副委員長    | 田代 高章       |
| 委員      | 阿部 价男 熊谷志衣子 |
|         | 澤口たまみ 米谷 春夫 |
|         | 宮澤 徳雄       |
- 欠席委員の氏名
- |       |       |
|-------|-------|
| 小松 務  | 高橋 健悦 |
| 中原 志郎 | 矢佐 俊幸 |
- 会社側出席者
- |       |            |
|-------|------------|
| 小西 隆昭 | 代表取締役社長    |
| 阿部 正樹 | 代表取締役専務    |
| 川島 敬司 | 常務取締役      |
| 菅野 秀樹 | 取締役テレビ営業局長 |
| 柴田 継家 | 報道局長       |
| 川上 隆  | ラジオセンター長   |
| 鎌田 英樹 | テレビ編成局長    |
- 事務局
- |        |            |
|--------|------------|
| 馬場 由紀子 | 番組審議会事務局長  |
| 小笠原 勉  | 番組審議会事務局次長 |
4. 議 題 『年末年始のテレビ・ラジオの番組について』

## 5．議事の概要

### <委員の主な発言>

- ・「神様からの贈り物」について、人間の生き方として感動でき、若い人たちに見せたい番組だった。こうした良質な番組は今後も再放送を考えて欲しい。
- ・「ニュースエコーSP」については、一年を振り返った内容の濃い番組で、各支社、支局からの記者レポートも良かった。
- ・最近の「実業団駅伝」は、スター性のある選手がいないから面白みが感じられないし、ドラマチックな展開も少なく魅力を感じなくなった。
- ・「じゃじゃじゃホットライン」「盛岡文士劇」「岩手アスリート選手権」など自社制作番組が多く編成されており、どの番組も楽しく見ることができた。

### <社側>

- ・自社制作の番組については「じゃじゃじゃホットライン」を初めとして3日間で7番組、9時間半の放送をしました。地域密着の意気込みで制作したものです。
- ・「神様からの贈り物」は、ニュースエコーの取材の中から生み出された番組です。記者が取材に入り、ニュースエコーで何回か放送しました。報道部内でも、自分の障害を神様の贈り物だとコメントした彼女に興味を持ち、1年間追いかけて1時間の番組にまとめました。
- ・「ニュースエコーSP」の記者レポートは、子育てのこと、絆ということに触れました。今年のニュースエコーのテーマは「絆」です。地域の絆、親子の絆などいろいろな絆があります。これを様々な切り口で今年1年間取り組んでいくということへのつながりを盛り込んだつもりです。